



www.hanaiyusuke.com

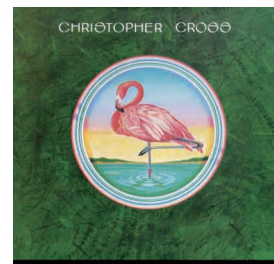
## 葉山マリーナ、亡き父、そして ふたつの名曲「セーリング」

昨年の10月から、僕は葉山マリーナに拠点がある湘南ビーチ FM でラジオ・パーソナリティをしている。毎週木曜日、夜8時から10時までの2時間だ。湘南らしく、海を感じさせる選曲を心がけながら、僕は毎週ハワイアンや西海岸の音楽、時には邦楽も取り入れながら2時間のストーリーをつくっている。海好きのかたならご存知の通り、ブースは葉山マリーナにあり、当然ながらここ何ヶ月か僕は週1のペースで通っている。僕が足を運ぶのは、もう陽が落ちて辺りは宵闇に包まれる頃だが、マリーナに浮かぶクルーザーを見ていると、なんともいえずノスタルジックな気持ちになる。亡くなった僕の父親は海が好きで、昔は小さい僕を連れてクルーザーが置いてあるマリーナに連れて行ってくれた。油壺や逗子マリーナのこともあったが、ある時期は葉山マリーナにも置いていた。今回、湘南ビーチ FM に誘われたときは、縁を感じたものだ。すぐそこにある海や船の存在を感じながらの仕事は、実に僕をメロウな気持ちにしてくれる。

今回はそんな葉山マリーナに由来して「セーリング」という曲をピックアップした。クリストファー・クロスと、ロッド・スチュアートの曲だ。どちらも、かなり昔の曲だが、いつ聴いても海が広がる景色へと、すうーっと連れて行ってくれる名曲だ。クリストファー・クロスの「セーリング」は、海に行けばやすらぎの世界があると歌う。ヨットのセールはミラクル。海に出れば、自由になれるという。海をイメージしたサウンドも、澄んだ歌声も心地いい。またロッド・スチュアートの「セーリング」は、航海を思わせる壮大な印象の一曲だ。アルバム『アトランティック・クロッシング』に入っていて、これはイギリス人の彼が新しい彼女の元へ行くために、そして人生を変えるためにアメリカに渡ってレコーディングしたものだ。死ぬことさえ恐れず、鳥が空を飛ぶように、嵐の海を通る船のように、海を越えてあなたのもとへ行きたいというストーリーだ。なるほど、スケールが大きい。

僕を自分のクルーザーで海に連れていってくれた父は、いつもマリーナに帰ってきてすべての作業を終えたあと、船の上でコーヒーにブランデーを入れ、飲んでいたものだ。僕はそれを飲んでみたかったが、子供はだめだと取り合ってくれなかった。今度湘南ビーチ FM で話すときは、ブランデー入りのコーヒーを飲みながらにしてみようかな。

その後、サンフランシスコへと移り住んだ時も、クルーザーを持って行った。そして父が亡くなったのを機に、売りに出した。しかし数十年後、僕たちには思いがけない再開があった。家族や親戚が父の命日に集まったとき、サンフランシスコのあるマリーナで、父が大事にしていたクルーザーを偶然に見つけた。すべて木で造られた味のある船で、船の種類は「マリナー 35」、父が付けた名前はホワイト・クレストだ。チークを張ったデッキやペンキの色を見て、ひと目で父が大事にしていたものとわかった。何も変わっていなかった。母はとても懐かしそうに見ていた。オーナーは家族連れだろうか。あのときの僕のように小さい男の子がいて、セーリングを楽しんでいるのだろうか。だとしたら、父も喜んでいるだろう。あの頃は親父のつきあいなんて面倒臭いと思うこともあったが、今となってはいい思い出だ。こうしてセーリングという曲を思い出し、父親の顔を思い浮かべているんだから。



ARTIST : CHRISTOPHER CROSS  
ALBUM TITLE : CHRISTOPHER CROSS  
LABEL : WARNER BROTHERS  
NUMBER : ??????????  
RELEASE DATE : 1979



ARTIST : ROD STEWART  
ALBUM TITLE : ATLANTIC CROSSING  
LABEL : WARNER BROTHERS  
NUMBER : ??????????  
RELEASE DATE : 1975

### PROFILE

ジョージ・カックル

1956年鎌倉生まれ。日本人で日本舞踊の師匠の母とアメリカ人でヨットマンの父を持ち幼少時代を日本・テキサス・韓国で過ごす。小学3年生でビートルズに開眼。LAで有名なサーフポイントでの初サーフィン体験。この原体験が彼のその後の人生を決定付ける。日本での学生生活の後、憧れのインドをはじめ世界を放浪し、ハワイ経由でサンフランシスコに移り住み18年間波乗り明け暮れた。1995年帰国後、生まれ故郷鎌倉へ音楽マネージメント&制作会社を立ち上げ、日本のミュージックシーンにbabamaniaなどを輩出。音楽プロデューサー、コラムニスト、作詞家(マッドカプセルマーケティング、阿川泰子など)として、2006年の8月には子供の英語・音楽教育用の本『ウクレレ・マミー・アンド・ミー』を出版。古今東西の音楽と文化と人間臭さをこよなく愛し日本と世界を結ぶ架け橋になりたいと願い、今日もポップ・マリーナを聞きながらサーファーとしても多忙な日々を送っている。現在、インター FM (76.1) 毎週日曜日、9:00~13:00 レイジーサンデーを担当。

SHONAN BEACH FM 78.9  
STARLIGHT CRUISING  
Thursday 8-10pm